令和５年度　強化方針・計画

○はじめに

平成２８年いわて国体強化に向け岩手県体育協会の指導により、平成２２年２月に作成した「競技者育成プログラム」の考え方に基づき長期的な取り組みを行ってきた。

競技者育成プログラム作成に至った経緯は平成１９・２０年頃の東北ミニ国体での２年連続総合最下位という屈辱である。この低迷を打開するためにひとつの対策として「小・中オープンリーグ」を始めた。何かを始めなければとの思いから、やる気のある選手集まれ、小学生低学年から卓球環境を提供しようと言うものである。

そのあと数年後ではあるが、県協会全体が一丸となったことや、強化に係わる関係者の方々に努力により東北ミニ国体総合優勝するまでになった。しかし、国民体育大会においてはベスト８が最高成績であり、本当の意味の強化の面ではまだまだと言わざるを得ない。したがって、今後においてもこの「競技者育成プログラム」を強化の指針として強化事業に取り組むこととする。

Ⅰ．基本的考え方

１．卓球競技強化の基本的考え方は、本県の小学、中学、高校、大学に在学および本県出身選手（ふるさと選手）を対象とした育成、強化を推進する。

２．目標は各カテゴリーすべて全日本大会上位を目指すことはもちろんであるが、特に重点的に強化する種目はホープス、カブ、バンビとする。

３．競技環境から考えるとまだまだ競技人口が少ないと言わざるを得ないことから卓球人口拡大、卓球を初めるきっかけを提供する、などの普及に取組む。

４．本会を代表し全日本大会等に出場選手および県選抜選手は、岩手代表と言う自覚を持つことはもちろん、チーム岩手の考え方を浸透させる。

Ⅱ．具体的取組み

１．平成１９年１０月から実施してきた小・中オープンリーグを引続き開催、試合のみならず講話や講習会など工夫を凝らし選手、指導者の意識改革を促す。

・４年度年間９回予定（9回のうち4・5回はリーグ戦に加え内容を工夫）

（審判講習会・技術指導・栄養指導・指導者講習会ほか）

・ スタッフの強化　⇒　ホープス委員会、強化部・強化育成委員会の協働運営

２．国体成年種目の強化については、ふるさと選手の起用を含め取り組む。

・ふるさとの範囲が小学生まで拡大　⇒　対象選手把握、繋がり深める

３．小学生（ホープス）強化は、選手層全体の底上げが不十分であることから普及活動に取り組む。特にバンビ（小学２年以下）の選手の普及、強化に取組む。

・小学生初級者講習会(新)の開催

４年度年間５回予定（初級者を中心に集め練習会や勉強会、親子一緒に）

普及活動に特化し卓球に親しむ環境を提供、いわゆる“種まき”

スタッフの強化　⇒　ホープス委員会、強化部・強化育成委員会の協働運営

４．中体連、高体連に所属する選手は、それぞれの母体チームでの強化となることから県代表選手、県選抜選手中心の強化策とし、強化合宿等実施する。

５．将来の国体候補選手を見据えた「県小・中学生強化指定選手制度」を導入し、明確に選手を指定した強化の取り組みを行う。

・制度具体化の取り組み

制度の規程作成（目的、指定人数、対象試合、選考基準、選手の特典等）

ホープス委員会が素案を作成　⇒　強化部で協議

制度の導入スケジュール　⇒　４年度上期大会結果　⇒　９月以降導入

Ⅲ．強化事業

１．国体選手選考会 成年・少年（強化部主管）

２．小・中オープンリーグ（ホープス委員会・強化部・強化育成委員会主管）

３．小学生初級者講習会（ホープス委員会・強化部・強化育成委員会主管）

４．東北・北海道小学生選抜強化合宿（ホープス委員会主管）

５．東北中学生選抜強化交流会（カデット委員会主管）

６．東北卓連強化合宿（高体連主管）

７．小・中学生合同強化リーグ（ホープス委員会・カデット委員会主管）

Ⅳ．国体監督

・少年男子　野田春輔（常任委員）　・少年女子　三浦邦広（常任委員）

・成年男子　高橋謙太（常任委員）　・成年女子　大川貴士（常任委員）

Ⅴ．組　織

１．強化部は、選手強化の方向性や考え方、施策、予算案等を作成し理事会に提案するすると共に強化事業の運営にあたる。

２．強化・育成委員会は、強化事業である強化合宿等やオープンリーグの運営および強化スタッフとして活動する。

○強化部

部　　長	小　野　　豊（会長）
副　部　長	柏　山　徹　郎（副会長）
〃	新　沼　興　隆（　〃　）
〃	小　坂　信　彦（　〃　）
委　員　長	高　橋　和　博（理事長）
事務局長	高　橋　栄　喜（副理事長）
委　　員	細　川　健　治（高体連委員長）
〃	野　田　春　輔（高体連、国体監督）
〃	久　保　雄　章（カデット委員長）
〃	山　田　　保（ホープス委員長）

○強化・育成委員会

委　員　長	高　橋　和　博
事務局長	高　橋　栄　喜
委　　員	新　沼　大　隆（中体連委員長）
〃	大　川　貴　士（高体連、国体監督）
〃	三　浦　邦　広（高体連、国体監督）
〃	高　橋　謙　太（ホープス事務局長、国体監督）
〃	平　舩　　文
〃	野　田　享　平
〃	柏　山　　潤
〃	伊　東　伸　也（社会人委員会）